

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
新型コロナウイルス感染拡大防止の為、5月1日(金)～31日(日)まで公民館事業及び貸館を中止いたします。						
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



今日から一年生♪ ご入学おめでとうございます！！

三百十四名で始動しました！

社小学校の令和二年度がスタートしました。明治七年の創設から百四十六年目の新たな歴史が始まります。四月九日の入学式で五十四名のかわいい新入生を迎え、全校児童数は三百十四名です。玄関前の石碑に刻まれている三つの言葉「ゆたかに かしく たくましく」を校訓として、「毎日が「わくわく、ドキドキ」笑顔と活気にあふれ、安心して自分の力が発揮できる学校」を目指していきます。子どもたちの笑顔がますます輝くよう、そして明日を楽しみにして学校に通うことができるよう、教職員一同、心一つに努力していきます。よろしくお願いたします。また、本年度も「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。保護者の皆さま、地域の皆さまの力をお借りしながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思っております。どうぞ温かいご支援ご協力をお願いいたします。

社小学校長 池口 靖

ありがとうございました

- 〈金一封〉 前田 住枝様(福光)
- (故) 夫 卓也さん 八十一歳
- 〈金十万円〉 大下 伸一様(福光)
- (故) 父 一郎さん 七十九歳

社公民館施設充実費として

やさしろ公民館報 448号 令和2年4月30日発行 編集発行/社公民館・館報専門委員会
鳥取県倉吉市国分寺74-1 TEL. 0858(28)2155 FAX. 0858(28)6031

社公民館 HP <http://社公民館.com> Email koyasiro@ncn-k.net

おしらせ 社公民館は、社会教育施設ですので、飲酒・喫煙は禁止となっています。皆様のご協力とご理解よろしくお願いたします。

更生保護活動について(犯罪や非行からの再出発を支える地域のチカラ)

安全・安心な地域をつくるためには、罪を償い再出発しようとしている人々を地域で支える「更生保護」が重要です。「更生保護」とは、犯罪や非行を犯した人が、地域社会で立ち直れるように支援するとともに、犯罪や非行のない社会をつくるための事業や活動のことです。保護司とは？

保護司は、法務大臣より委嘱された更生保護のボランティアで、犯罪や非行を犯した人の立ち直りに関して指導助言を行い地域の安全・安心のため努力しています。全国で約四万八千人が活動しています。

鳥取県内には、約三百七十名の保護司がいてボランティア活動をしています。鳥取県内には、八つの保護区があり、それぞれに保護司会が組織されています。

倉吉保護区保護司会(倉吉)

市・湯梨浜町・三朝町)には、現在五十四名が所属し、本地区では三名の保護司が活動しています。例えばこんな人が活動しています

農林漁業・製造・土木建築・サービス業の自営業者・公務員・会社員等、定年退職者、宗教家、家庭の主婦などさまざまな人が保護司になっています。

保護司の具体的な仕事は
①保護観察になった人への支援(助言や指導)

②刑務所や少年院など(矯正施設)に入っている人の出所後の生活環境等の調整
③地域での犯罪予防の啓発活動(社会を明るくする運動など)

④その他保護司活動に必要な関係者や関係機関との連絡・協議など

※専門官である保護観察所の保護観察官のアドバイスを受けながら協働しています。再犯をなくせば地域はもっと豊かになる

再犯や非行を防止し、立ち直りを支えるために、毎年七月を強調月間として、全国で「社会を明るくする運動」が進められています。倉吉市でも、市長を推進委員長としてこの運動を展開しています。

再出発しようとする人たちの約七割が仕事がなく、約二割が居場所がないという状況があります。

一般の人でもなかなか仕事に就くのが困難な時代です。刑を終えた人たちの就職も容易ではありません。収入がないため生活できない状態に陥り意図的に犯罪を犯して刑務所に入る人も少なくありません。再犯を防ぐには、精神面と経済面の両面からの支えが必要です。保護司の力だけでは、不可能、何よりも家族や周辺住民の理解と支援が必要です。罪を犯した人も地域で暮らす一人です。同じ社会の一員として温かい気持ちで接してほしいと願っています。

「社会を明るくする運動」は、昭和二十四年七月十三日から東京・銀座の商店街の有志が一週間にわたって「犯罪者予防更生法実施記念フェア(銀座フェア)」を開催したことに始まります。今年で七十回目を迎えます。節目の年でもあるので、より多くの人にこの取り組みの趣旨を理解していただき、それぞれの立場で関わっていただくとともに、犯罪や非行のない社会をつくるために一人ひとりが考え、行動するきっかけをつくることを目指しています。



更生ペンギンのホゴちゃん



“社会を明るくする運動”倉吉市出発式

「しあわせ」

ペンリレー No.347

新垣 智也(馬場町)

私は、馬場町住人になって今年で、十七年目になります。妻の実家が馬場町です。(その時です結婚決めたのは、地域と付き合いができる人、地域に愛される人)そんな感じがして、安心感が高まった瞬間でした。今でも当時集まってくれた、おじちゃん、おばちゃんとは、親戚みたいなお付き合いをしています。馬場町大好きです。

ある雑誌に、一日一回は、小さな小さな見つけてみよう。との記載がありました。小さな幸せをみつけよかな?と私なりに考えてみました。雨上がりの空に虹がかかる。川べりの土手を歩いてみると足元に四葉のクローバーがあった。雲の形がクジラに見えた。小学生に大きな声で、挨拶されたかと思えます。毎日が楽しく、明るく、笑顔になれるような気がします。

今回は上神の宮本寛子さんです。

共に支え合うやしろをめざして

社地区民生児童委員協議会

社小学校運動会延期のお知らせ

五月二十三日(土)に予定されていた社小学校運動会は、コロナウイルス感染拡大防止の為に、十一月十四日(土)に延期と決定しました。

三年毎に実施されます一斉改選により、社地区では、新任委員五名、再任委員八名の十三名の新体制で令和元年十二月一日より活動をスタートしております。

これからの社地区福祉の推進にワンチームで取り組んでいきますので、ご支援ご協力をよろしくお願ひ致します。

私たち民生児童委員の活動の基本は、『つなぎ役』です。住民の立場に立って、支援の必要な人の身近な相談相手となり、情報提供や、関係機関による支援のつなぎ役となって地域活動を行うことです。又、常に心掛けている事は、住民皆さんの『基本的な人

権と人格の尊重』『守秘義務の徹底』があります。活動の基盤は、住民皆さんとの信頼関係です。し守秘義務の徹底は信頼関係の維持に必要不可欠だと考えています。

又、住民の皆さんから民生委員を認知して頂く為に地区の行事や各種団体との交流等に積極的に参加しています。

私たちは地域の皆さんとの信頼関係と心の拠り所となれるよう誰もが笑顔で安心して暮らせるやしろづくりに向い全員で励みたいと思います。担当地区の委員へ何なりと声を掛けて下さい。よろしくお願ひ致します。

会長 小谷 秀昭

社句会

265

- 大屋根に胸張り一羽囀れる 吉田やす子
- 夕空の辛夷いつしか間に溶け 早田 圭吾
- 史跡野に杖をたよりの花見かな 伊藤一七子
- ぎんぎらの春の入り日に畑仕事 西尾 良子
- 初蝶のもつれ耀ふ野の光 永見 松明
- (五月の歳時記より 永見松明選)
- よるこべば新茶淹れかへ淹れかへて 小畑 一天
- 水のごとき交はりもよし古茶新茶 大橋櫻坡子
- 俳句愛好者の皆様へ
- 館報七月号より募集句を掲載します。
- 応募作品はおひとり二句以内です。応募締め切りは、六月十五日までに社公民館にお届け下さい。

社川柳会

406

- 「リズム」 「ルンルン」
- お若いと言われ一氣に有頂天 すみれ
- ばあちゃんのおごりと聞くやルンルンだ 緑
- 小走りのリズムが崩れこけました けいこ
- リズムよしハウスの換気スタスタと 佳代子
- 古希からのリズムただいま模索中 義ちゃん
- コロナ去りルンルンとした夢を見る 吹苑
- 朝方の夢でルンルン良い調子 瑛子
- ルンルンの笑顔が走る新学期 理子
- ルンルンと咲いた桜がかりたてる 哲夫
- ルンルンも終わってみれば鬱になる 雄大
- 花の下老いても気分ルンルンだ シゲヨ

次回の課題は「礼」五月十五日までに公民館にお届け下さい。

山の上の
オクラ君
No.38
自粛の副作用

自粛って大変だけど、逆にいいことも起きてるらしいんだね!

大気がきれいになって30年ぶりにインドでヒマラヤ山脈が見えたり

汚染で濁っていた水の都ベネチアの運河が透き通って魚やイルカが戻ってきたり

お母さんのお料理がとてもしっかりしました。あさくそは、買った冷凍食品!!!

コロナ感染拡大防止の為、三つの「密」を避けましょうね!

